

# ピアサポーター・トレーニング報告 (2013 年度)

## A “Peer Supporter” Training Program at Otemae University in 2013

石毛 弓

CELL 教育研究所研究員

大手前大学の学習支援センターは、学生の自主学習を推進する場として設けられている。この学習支援センターで働くスタッフのうち、本学の学部生を「ピアサポーター」と呼んでいる<sup>1)</sup>。ピアサポーターに対してどのようなトレーニングをするべきかは、現在多くの高等教育機関が模索している課題だろう。本稿では大手前大学学習支援センターが 2013 年度に行ったピアサポーター・トレーニングの内容を報告し、次年度に向けての問題点を整理するものである。

**キーワード：**学習支援、ピアサポーター、ピアサポーター・トレーニング

### 1. はじめに

学習支援の現場で、学生が学生に対してアドバイスを行う「ピアサポート」を実施している大学は多いだろう。ピアサポーターが十全に力を発揮するためには、彼ら彼女らの力を伸ばすためのトレーニングが必要である。この考えの下、大手前大学の学習支援センターではピアサポーターに対して2013年度に半期12回程度のトレーニングを行った（石毛 2013）。本稿はこのピアサポーター・トレーニングについて報告し、今後の問題点を整理することを目的とする。

### 2. 大手前大学のピアサポーターについて

大手前大学（以下、本学）の学習支援センターは、学生の自立学習に向けたサポートを行う場として設けられている。同センターにはチューターやピアサポーターが常駐し、来室した学生に学習アドバイスを行うというスタイルをとっている。チューターは修士課程を終えていることが原則であり、主として他大学の大学院生以上で構成されている。ピアサポーターは本学の学生から募っている。来室者に同じ学生の目線から接することのできるピアサポーターは、本学の学習支援センター業務において重要な役割を担っている。

ピアサポーターは大学のLMS上で公募する。採用された学生は、ピアサポーターとしてのトレーニングを受けながら業務に当たる。応募する理由はさまざま

が、自らピアサポーターになろうという学生は往々にして学習意欲や他者を支援したいという意識が高い。このように意欲のある学生に対して、ピアサポーターとしての能力を伸ばすトレーニングを行うことは大学側が果たすべき役割の一つだろう。またトレーニングを受けることは、ピアサポーターとしてだけでなく、本学の一学生としてコミュニケーション能力や論理的思考力などを向上させる一助になる。

トレーニングの内容は学習支援のありようによって異なるだろうが、2013年度は広い意味でのファシリテーション技術の向上を中心に展開した（堀 2004）。その理由は、ファシリテーション技術はピアサポーターが学習アドバイスをする際に備えてほしいスキルであり、かつ複数のピアサポーターで学ぶ利点が活かされる（単独で学ぶことが難しい）内容だからである。ただし、ファシリテーション技術だけでなく他の能力を伸ばすトレーニングも実施していたことをつけ加えておく。

### 3. トレーニングについて

#### 3.1. 概略

本章ではトレーニングの内容について解説する。最初にトレーニングについての概略を示し（表1、表2）、後でいくつかの内容について補足する。なお表内の「FT」は「ファシリテーション・トレーニング」、「PS」

は「ピアサポーター」の略である。また春学期における内容を二回実施しているのは、ピアサポーターが一堂に会することのできる時間帯がなかったためである。

### 3.2. トレーニング内容(2013 年度春学期)

ピアサポーター数： 10名

指導者： 1名（学習支援センターマネージャー）

時 間： 1回90分を基本とする（例外あり）

表1. 春学期のトレーニング概要

回	日時	テーマ
1	4月19日（金） 4月23日（火）	学習支援センターに関する説明会
2	4月25日（木） 4月30日（火）	発達障害についての勉強会
3	5月10日（金） 5月14日（火）	FT①リフレーミングの活用
4	5月18日（土） 13:30～16:30	PS 企画の発表 FT②
5	5月21日（火） 5月24日（金）	FT③
6	6月1日（土） 13:00～16:00	FT④コミュニケーションとリフレーミング PS 企画の報告
7	6月7日（金） 6月11日（火）	論述ワークショップ
8	6月18日（火） 6月21日（金）	話し合いの場のファシリテーション実践①
9	6月25日（火） 6月28日（金）	話し合いの場のファシリテーション実践②
10	7月2日（火） 7月5日（金）	PS によるミーティングの実施①
11	7月16日（火） 7月19日（金）	PS によるミーティングの実施②
12	8月5日（月） 10:00～17:00	春学期のふりかえり

#### 【内容の補足】

第 1 回：ピアサポーターへの基本的な事項の説明

会を実施（仕事の概要、職業倫理、各種手続き等）

第 2 回：一般的な応答では対応が難しい学生に関して、「発達障害」という観点から専門家によるレクチャーを実施

第 3 回：視点を換えてものごとをみる訓練をテーマにした FT（以下、テーマを設けて FT を継続）

第 4 回：ピアサポーターによる企画（第 4 章参照）の計画について情報を共有

第 7 回：論理的思考力の訓練（とくに論述について）

第 8 回：ピアサポーターがファシリテーターとしてワークショップを運営

第 12 回：ピアサポーターおよびチューターの合同ふりかえりの会を実施

### 3.3. トレーニング内容(2013 年度秋学期)

ピアサポーター数： 7名

指導者： 1名（学習支援センターマネージャー代理）

時 間： 90分を基本とする（例外あり）

表2. 秋学期のトレーニング概要

回	日時	テーマ
1	10月29日（火）	FT のふりかえり
2	11月5日（火）	PS 業務に関する課題整理（KJ 法）
3	11月12日（火）	PS 企画・広報のあり方等の検討会
4	11月19日（火）	PS 企画案検討会
5	11月26日（火）	アサーティブな人間関係について学ぶ①
6	12月3日（火）	アサーティブな人間関係について学ぶ②
7	12月10日（火）	タイプ別リーダーシップの取り方の傾向
8	12月17日（火）	PS 企画報告会
9	1月14日（火）	ワークショップ（「流れ星エクササイズ」）

10	1月21日(火)	PS企画報告会①
11	2月5日(月) 13:00~17:00	秋学期のふりかえり PS企画報告会②

#### 【内容の補足】

第2~4回:PS業務についての意見交換や各人の意識についての確認等を、FTの手法を踏まえて実施

第5回:アサーションの概念を学習・実践

第10回:PS企画を実行した学生が報告を実施

第11回:ピアサポーターおよびチューターの合同ふりかえりの会を実施

#### 4. ピアサポーター企画

ピアサポーターには、学習支援センターで学生が入室するのを待って対応するだけではなく、自ら動く力を身につけてほしい。また学生が目線から、学習支援センターを充実させる提案をしてもらいたい。このような理念から、学習支援センターでは2012年度からピアサポーターに「企画」の計画・実施を推奨している。

企画の内容は、学習支援センターの向上もしくは学生への学習サポートに関連していれば自由とした。一人で一つの企画を計画する場合もあれば、グループで一つの企画を計画する場合もあった。

##### 【企画実施までの主な流れ】

1. ピアサポーターに、企画を立案することの意義や手順について説明(過去のピアサポーターによる企画計画書や実施報告書などの参照をうながす)
2. ピアサポーターが企画の計画書を提出
3. 計画書の検討(必要に応じて、アドバイスに基づいた再提出が求められる)
4. ピアサポーターによる企画の実施

企画の計画書は、サンプルを提示したうえでピアサポーターがA4用紙1~2枚をめどに作成する。また学期末に、実施した企画についての報告会を設けるようにしている。

企画は半期に一度実行されるのが理想であるが、企画の内容によっては練り直しが必要になり、実施まで至らない場合もある。現状では、企画の計画書を提出するところまでを最低限の目標にしている。

2013年度に実施に至ったピアサポーター企画は表3、4の通りとなる。

#### 5. まとめと課題

##### 5.1. ピアサポーター・トレーニングについて

ファシリテーションのトレーニングを中心とした研修を行ったことによって、ピアサポーターのセンター内での働きは向上したと考える。また、ピアサポーター自らが研修内でファシリテーターとしてふるまうことで、ワークショップや企画運営時などに役立つ技術を習得した。これらの力は、学習支援センターの業務だけでなく、能動的な活動が求められる授業科目や就職活動の際などにも役立つと期待される。

本年度は定量調査などを行っていないため、上述の評価は学習支援センターの運営スタッフの日々の観察からの実感および研修後のピアサポーターによる感想に基づいている。さらにピアサポーターは毎回の研修後に学習した内容をふりかえるシートを提出しているが、その内容からも新しい技術や考え方を身につけている様子をうかがうことができた。

##### 5.2. ピアサポーター企画について

ピアサポーターは、ただの雇用者ではなく他のスタッフたちとともに学習支援センターをつくっていく〈仲間〉である。学習支援センターの運営に関心をもち、また積極的に関わっていくための手段のひとつとしてピアサポーター企画を実施している。

ピアサポーター企画を行う利点は、各々が自分の能力や興味関心をふりかえり、それを学習支援センターもしくは自立学習の向上という枠組みのなかでどう活かすことができるかを確認できるということにある。また企画の実施にまつわる諸々の問題を解決することは、実践的な力の獲得や社会人基礎力の育成につながる。さらに学習支援センターにとって、いわゆる大人のスタッフだけでは出てこない発想や学生ならではの観点を運営に取り入れることができるようになるのである。

##### 5.3. 反省点と今後の展開

現在、ピアサポーター・トレーニングで主な課題となっていることは2点ある。一つはファシリテーション・トレーニング以外の研修の必要性である。ピアサポーターとしての心得や要求されるふるまいなどについては、2013年度に一部実施はしたものの不十分であったと考える。そのため、2014年度は今年度とは違ったプログラムを用いることを計画している<sup>2)</sup>。

もう一つは、ピアサポーターとしての能力の伸びを客観的に測る手段の必要性である。この点は、コミュニケーション関連のトレーニング・プログラムの多く

が模索している問題だろう。そのため他の研究者などと協力して有効な手段を探ってゆきたいと考えている。

ピアサポーター企画については、ピアサポーター自身から負担が大きいとの声が上がっている。負担の大きさには、立案や計画書の作成、実行もさることながら、計画書の練り直しや企画への一般学生の参加をうながすことの難しさといった多様な側面が関わっている。来年度は、今年度よりもピアサポーターと企画の意義について話し合う時間を増やすこと、またそれぞれの企画の開催時期を設定したうえでのスケジュールを意識することで改善に努める予定である。

### 謝辞

すべての学習支援センタースタッフ、とくにピアサポーター・トレーニングを行った学習支援センターマネージャーおよびマネージャー代理に対する謝意を表します。

### 参考文献

- 石毛弓 (2013) 大手前大学学習支援センターの総括 (2007 年度～2012 年度), 大手前大学 CELL 教育論集, 第 3 号, 7-16.
- 堀公俊 (2004) ファシリテーション入門, 日本経済新聞.

### 注

- 1) 日本の高等教育の現場では、「ピアサポーター」はメンタル面でのケアに携わる学生を指す傾向にある。しかし本学では、学生がおなじ学生の学習活動を支援する役割に対して「ピアサポーター」の語を使用している。
- 2) 2014 年度は下記をテキストとして使用する予定である。谷川裕稔、石毛弓他 (2014) ピアチューター・トレーニング学生による学生の支援へ、ナカニシヤ出版、2014.

### SUMMARY

This is a report that records the contents of Peer Supporter training program at Otemae University in 2013. The definition of Peer Supporter in this report is students who work at Self-learning Centre at Otemae University and make an effort to support other student's self-directed learning. In this report, I will describe the contents, number, and effects of the training.

KEYWORDS: LEARNING SUPPORT, PEER SUPPORTER, PEER SUPPORTER TRAINING

表 3. 実行されたピアサポーター企画 (2013 年度春学期)

テーマ	概要	開催日時	PS
簿記対策勉強会	日商簿記 3 級合格をめざす勉強会	6 月 18 日 (火) ～11 月	3 年次生
メールの基本を学ぼう!	G メールの使い方	7 月 4 日 (木) 3 限 7 月 9 日 (火) 3 限	4 年次生
よみきかせをしてみよう	読みきかせの準備と実践	7 月 11 日 (木) 3 限 7 月 18 日 (木) 3 限	4 年次生
楽しく学ぼう!	学習する上での困難を共有 (タイム・マネージメント)	7 月 11 日 (木) 5 限	3 年次生 2 名

表 4. 実行されたピアサポーター企画 (2013 年度秋学期)

テーマ	概要	開催日時	PS
簿記対策勉強会	日商簿記 3 級合格をめざす勉強会	6 月 18 日 (火) ～11 月	3 年次生
ちょっと、ここで課題やっ てこうかな。	学習支援センターの PR 活動および 環境整備	12 月～1 月	4 年次生
あなたの気になった出来 事は?	世間で起こった出来事で関心のあ るものをランキング	1 月	3 年次生
Excel の勉強をしよう!	Excel の使い方	1 月 20 日 (月) 4 限 1 月 22 日 (水) 4 限	3 年次生
チューター・PS 交流会	チューターと PS の意見交換会	1 月 28 日 (火) 10:00～12:30	3 年次生

※「簿記対策勉強会」は 11 月の受験をめざすため春・秋両学期にまたがる開催となった